

Ⅱ. 科目登録の要領

■学修支援システム「DUET」について

1. 科目登録（先行登録・一般登録）

科目登録は、基本的にDUET上で行います。

自宅や大学のPCコーナーなどで、決められた期間内に科目登録をしてください。

※先行登録、一般登録とも、それぞれの受付期間中であれば**追加・変更・削除**をすることが出来ます。

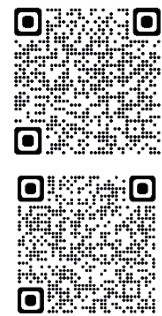
科目登録は「開講科目一覧表」等に記載された「登録コード（科目コード+クラスコード）」で行います。

利用上の注意はDUETの「マニュアル」ページに掲載しています。

以下QRコードからも同じ内容のものを確認することができますので、適宜活用してください。

先行登録／一般登録・・・「DUETによる科目登録 利用上の注意」

履修中止・・・「DUETによる履修中止 利用上の注意」



登録コードの入力間違いはエラーとして認めません。異なる科目を登録していた場合は直ちにDUET上で修正してください。

入力間違いにより登録科目欄に自分が登録したい科目以外の科目が表示されているかもしれません。

登録コード入力後に科目情報表示ボタンを押し、表示された科目が正しいことを十分確認してください。

また、希望申請後、申請内容が大学より交付されたメールアドレス宛にE-mailで送付されますので、こちらも必ず確認してください。ただし、E-mailは希望申請後すぐには届かないことがありますのでご注意ください。

⇒異なる科目を登録していた場合は直ちにDUET上で修正してください。

2. その他の利用

DUETでは履修中止手続や本人現住所・電話番号の変更を行うことが出来ます。

また自分の時間割表示、登録科目の休講情報や試験情報の閲覧、授業評価アンケートや成績確認も出来ます。

ただし、公開期間が限定されているものがありますのでご注意ください。

なお、事務室や授業担当者からのお知らせもDUETで確認出来ますので、掲示板とあわせて定期的に確認するようして下さい。

DUETへログインするにはWeb シングルサインオンサービス（SSO）を必ず経由する必要があります。SSOにログイン後、「DUET」を選択してください。

試験前には登録科目の確認を

試験やレポート提出の前には、登録科目・クラスをもう一度確認してください。

例年、自分の登録していない科目・クラスの試験を受けたりレポートを提出したりする人がいますが、その場合、成績はつきません。

上記で紹介しているようにDUETを利用することで簡単に自分の登録科目を確認することが出来ますので、試験前には必ず再確認するようにしてください。

■科目登録の際の注意

◆科目登録とは

科目登録とは、みなさんが本年度（春学期・秋学期）履修を希望する科目を届け出ることです。どの科目を登録するかということは、本年度だけでなく次年度以降の学習にも影響します。

登録に関する連絡事項、変更等は神学部 HP・掲示により連絡しますので、必ず掲示板を確認するようにしてください。

なお、HP や掲示板での連絡に加え、大学が交付した電子メールアドレス宛にも連絡する場合があります。

1. 先行登録について

a. 先行登録科目は主としてクラス定員のある科目で、科目毎に登録日時が指定されています。

登録会場での登録の際には、必ず学生証を持参してください。忘れた場合は登録を受付できません。

b. いったん登録した先行登録科目はクラスの変更や登録の削除を認めません（ただし、履修中止制度（「6.履修中止制度について」で説明）に基づき、履修を中止することはできます）。事前に履修計画を立て、よく考えて登録してください。

なお、先行登録でクラスが決まれば、そのまま登録が確定します。

先行登録で登録が確定した科目は、一般登録で再度登録する必要はありません。

登録が決定した先行登録科目を一般登録期間に変更または削除することはできません。

一般登録したい科目と時間割が重複することがないように充分注意してください。

2. 一般登録について

先行登録科目以外の全ての科目です。講義開始直前に設けられる一般登録期間に DUET で登録します。登録が確定すると、登録科目の変更や履修中止期間以外での履修中止はできませんので注意して下さい。

◆秋学期科目について

秋学期科目についても春学期の登録期間に登録を行います。

秋学期に履修する科目は秋学期開始時の登録変更受付期間に変更（登録削除または追加登録）することができます。

先行登録科目についても定員に余裕のあるクラス等の追加登録を受け付けますが、春学期の登録期間で定員に達

する場合もあるため、希望する科目・クラスを追加登録できる保証はありません。

同一科目間でのクラス変更もこれに該当しますので、秋学期に当該科目を履修することができなくなる可能性について十分留意してください。

また、登録削除を認めない先行登録科目もありますので注意してください。

◆履修条件や制限について

- (ア) 定められた配当年次、履修条件を守って登録してください。但し、科目によっては履修条件を満たさなくても履修条件と同等の能力がある者の履修を認める科目があります。当該科目については『神学部履修要項』に記載の開講科目一覧表（履修条件等）にその旨を記載していますので、必ず確認して下さい。
- (イ) 全学共通教養教育科目、他学部設置科目を中心として、同一科目に複数のクラスが設定されている場合があります。クラスによって授業内容が異なっていたとしても、同一科目名であればいずれか1クラスしか登録することはできません。また、学部によって取扱いが異なる場合がありますので、他学部設置科目についてはその科目を設置している学部の履修要項や登録要領などで確認してください。

例：

生命の科学Ⅰ	- 3	}	クラスは異なりますが同一科目名ですので、クラス3とクラス5の両方を登録することはできません。
生命の科学Ⅰ	- 5		
↑	↑		
科目名	クラス番号（クラス番号は③、⑤と表記されている場合もあります）		

☆なお、過去に合格の評価を得た科目を再度履修することはできません。合格の評価を得た時とクラスが異なっても履修できません。ただし、不合格の評価となった科目については再履修することが可能です。

☆例外として科目名、科目コードが同一であっても、同一科目とはみなさない科目があります。

- ①大学コンソーシアム京都単位互換科目
- ②同志社女子大学単位互換科目

これらの科目は他大学科目のため、便宜上同一科目名、同一科目コードを付与しています。よって同一科目とはみなしません。

ちなみにこれらの科目の成績評価は「認定」または「不合格」となりますので、GPAの算出対象外となります。

- (ウ) 配当年次については原則として登録の際にDUETに表示されている科目が、神学部生が該当年次で登録できる科目です。他学部科目等で登録できる年次等がわからない場合は神学部事務室に確認してください。
- (エ) 同一講時に授業がある科目を重複して登録することはできません。
- (オ) 1講時に京田辺校地の科目、2講時に今出川校地の科目、といったように異なる校地の授業を連続して履修することはできません。

神学部生は、主として今出川校地の科目を履修することになります。特に指定のない科目はどちらの校地で履修してもかまいませんが、年度生により履修する校地、クラスを指定している科目はその指定に従って履修する必要があります。特に選択科目2類A群、2類B群、3類（2025年度以降生）、2～4類（2024年度以前生）については指定のある科目が多くありますので注意が必要です。

3. 登録科目確認表について

先行・一般すべての登録科目が掲載された確認表です。DUET からダウンロードし、エラーの有無を確認してください。エラー表示がなくても「登録されていない」「違う科目・クラスが登録されている」というエラーがあるかもしれません。全ての登録科目が正しく登録されているか確認してください。

4. 登録エラー修正について

登録が正確に行われなかった場合、エラーが発生します。速やかに修正の手続きをしてください。

◆例年よく見られる登録エラー◆

エラーメッセージ	原因・対応	『登録修正届』記入事項	
該当開講科目コードなし 該当設置科目コードなし	該当する科目がカリキュラム上に存在しない。 所属学部・研究科事務室等に申し出ること。	取消(D) 追加(I)	誤記入の登録コード 正しい登録コード
指定クラスでない	クラス指定を無視した登録はできない。履修要項または登録要領で指定クラスを確認の上、登録すること。	取消(D) 追加(I)	誤記入の登録コード 正しい登録コード
受講年でできない履修条件エラー	何らかの理由で登録できない科目の登録がされている。履修要項で履修条件を確認すること。	取消(D)	該当科目の登録コード
登録単位数オーバー 登録単位数不足 免許単位数オーバー P申請科目単位数オーバー 合否科目算入上限単位数オーバー 学則第9条の5対象科目算入上限単位数オーバー	単位数が適切に登録されていない。登録は定められた最高(最低)登録単位数の範囲内でおこなうこと。	取消(D) もしくは、 追加(I)	オーバー分の登録コード 不足分の登録コード
開講科目(クラス)重複	登録コードが同じ科目を複数登録している。いずれかを削除すること。	取消(D)	該当科目の登録コード
N N N N 年度履修済 単履修済(G R M 認定科目) 再履修可能回数オーバー	特に定められた科目を除き、履修済みの科目(認定含む)は登録できない。再履修できる科目も再履修できる限度を越えての登録はできない。	取消(D)	該当科目の登録コード
同時履修不可	同一学期に登録できる限度クラス数を超えている。同じ科目のうち、いくつかのクラスを削除すること。	取消(D)	該当科目の登録コード
同一期間履修回数オーバー	該当科目は同時に複数クラス登録できない。いずれかを削除すること。	取消(D)	該当科目の登録コード
時間割重複	同一曜日・講時に2科目の登録はできない。重複しているどちらか一方の科目を取り消すこと。	取消(D)	該当科目の登録コード
2校地間移動不可	2校地にわたる連続講時の登録はできない。連続しているどちらか一方の科目を取り消すこと。	取消(D)	該当科目の登録コード
免許課程登録なし	免許課程登録がないため、免許・資格関係科目として登録できない。免許資格課程センター事務室に相談すること。	免許資格課程センター事務室に相談後に記入。	
免許実履修不可	免許・資格実習科目を登録するために必要な条件を満たしていない。免許資格課程センター事務室に相談すること。	免許資格課程センター事務室に相談後に記入。	
免許・資格関係科目でない 免許・資格関係科目として登録できない 免許・資格関係科目でしか登録できない	免許・資格関係科目は種別コードを‘M’として登録する。 免許・資格関係科目でない場合は種別コードに‘M’としない。	取消(D) 追加(I)	誤記入の登録コード (種別コードを含む) 正しい登録コード (種別コードを含む)
その登録種別は入力できない 合否評価科目として登録できない 歴史関係科目でない	該当の登録種別は入力できない科目である。履修要項で履修条件を確認すること。	取消(D) 追加(I)	誤記入の登録コード (種別コードを含む) 正しい登録コード (種別コードを含む)

◎上記以外エラー、不明な点は所属学部・研究科窓口で相談すること。

■ 登録エラー放置者に対する処置

登録エラー修正には定められた期間があります。必ず期間内に、できるだけ早く修正をしてください。修正の際、削除したい科目数または単位数に応じて、代わりの科目の追加訂正を認めますが**定められた期間に登録エラー科目を修正せず放置した場合は、登録エラーがなくなるように科目の削除または追加を強制的に行います。**強制処理の結果に対する異議は受け付けません。このようなことにならないよう登録科目確認表を DUET で確認し、自分の登録エラーは自分で必ず修正してください。

万一、エラー未修正としてしまった場合は、必ず神学部・神学研究科事務室へ来て修正手続をとってください。これを行わない場合に上記の強制処置を実施します。

5. 履修科目確認

「学修支援システムDUET」で「登録科目一覧（ホーム>履修手続>登録科目一覧）」を確認してください。この時間割が春学期の正式登録の表となりますので、時間割を確認した画面を印刷し、保存しておいてください。

6. 履修中止制度について

授業開始後1ヶ月程度の時期（短期集中授業等については別途受付期間を設ける場合があります）に履修中止受付期間が設けられており、授業を受けてみて望ましい評価が得られないと判断した科目の履修を取りやめることができます。これを履修中止制度による履修中止と呼びます。

先行登録科目、一般登録科目を問わず履修中止が可能ですが、**履修中止受付期間に代わりの科目を登録することはできません。**履修中止を行う際は今後の履修計画などを充分検討してから行うようにしてください。**また、登録最低必要単位数の2単位を下回る場合、履修中止はできません。**

なお、あらかじめ履修中止を認めないと定めている科目があります。履修中止を認めないと定めている科目についてはその科目を設置している学部の履修要項、登録要領や掲示などで周知されていますので確認してください。なお、2025年度に開かれている神学部設置科目については、原則として履修中止を認めないと定めている科目はありませんが、変更が生じた場合は神学部掲示板、DUETメッセージ等にて周知しますので注意してください。

■ 評価科目について

【段階評価の科目】

卒業必要単位として認められる上限単位数の設定はありません。

【合否評価の科目】

卒業必要単位として認められる上限単位数として **24単位** が設定されています。

合否評価科目の単位を25単位以上修得しても24単位までしか卒業必要単位として認められませんので、登録履修の際には注意が必要です。

全学共通教養教育科目や他学部科目（選択科目3類（2025年度以降生）、選択科目6類（2024年度以前生））については、全学共通教養教育科目履修要項やその科目を設置している学部の履修要項、登録要領、シラバスなどで確認してください。

■段階評価から合否評価の変更について

※神学部設置科目については 2024 年度以前生のみ

1) 合否評価へ変更することができる科目

神学部設置科目については『神学部履修要項』「Ⅲ. 神学部開講科目一覧表」の「登録種別 P 可否」欄に P の表示がある科目が、合否評価へ変更できる科目です。

他学部設置科目のうち合否評価へ変更できる科目については、科目設置学部の履修要項・登録要領などで確認してください。

2) 合否評価への変更方法

段階評価科目を合否評価科目として登録するには、登録時に登録種別 P を付けます。

登録種別を複数付ける必要がある場合、例えば選択科目 I 類の科目を自由科目(登録種別 Z を付ける)として登録し、かつ合否評価へ変更する場合には、まず登録種別 Z を付けて登録し、**登録種別 P も付けたい旨を登録時(学修支援システム DUET を利用して登録した場合はエラー修正期間の最終日まで)に神学部・神学研究科事務室に申し出てください。**

3) 合否評価へ変更した科目を段階評価へ戻す場合

登録時に段階評価から合否評価へ変更した科目について、履修中に段階評価へ戻すことを認めます。段階評価へ戻すには、開講後約 8 週間程度経過した以下の時期に神学部・神学研究科事務室にて所定の手続きを行ってください。

春学期： 6 月 2 日(月)～4 日(水)

秋学期： 12 月 1 日(月)～3 日(水)

注意 段階評価へ戻すことは、神学部設置科目のみ対象とします。他学部設置科目を合否評価へ変更して登録している場合については、同様の変更が可能かどうかについて該当科目の設置学部へ問合せってください。

日本語・日本文化教育科目 (外国人留学生が履修可能な科目)

「2025日本語・日本文化教育科目履修の手引き」を参照してください。なお、<日本語>科目は日本語プレースメントテストを受けないと履修できません。プレースメントテストの詳細についてはHP (<https://ois.doshisha.ac.jp/support/orientation.html>) 等にて確認してください。

なお、外国人留学生が「日本語 I」「日本語 2」「ビジネス日本語 C」「ビジネス日本語 D」の単位を修得する場合の取り扱いについては以下のとおりです。

【2025年度以降生】母語が英語の者は 2 類 A 群に、それ以外の者は 2 類 B 群の単位に代えることができる。なお、母語を履修しても卒業単位には算入されない。

【2024年度以前生】選択科目 3 類の卒業必要単位として充当することができる。

ただし、いずれの場合も登録時に申請が必要です。希望者は DUET から上記科目を登録したうえで、神学部・神学研究科事務室へ 4 月 9 日(水) 17:00 までにその旨を申し出てください。